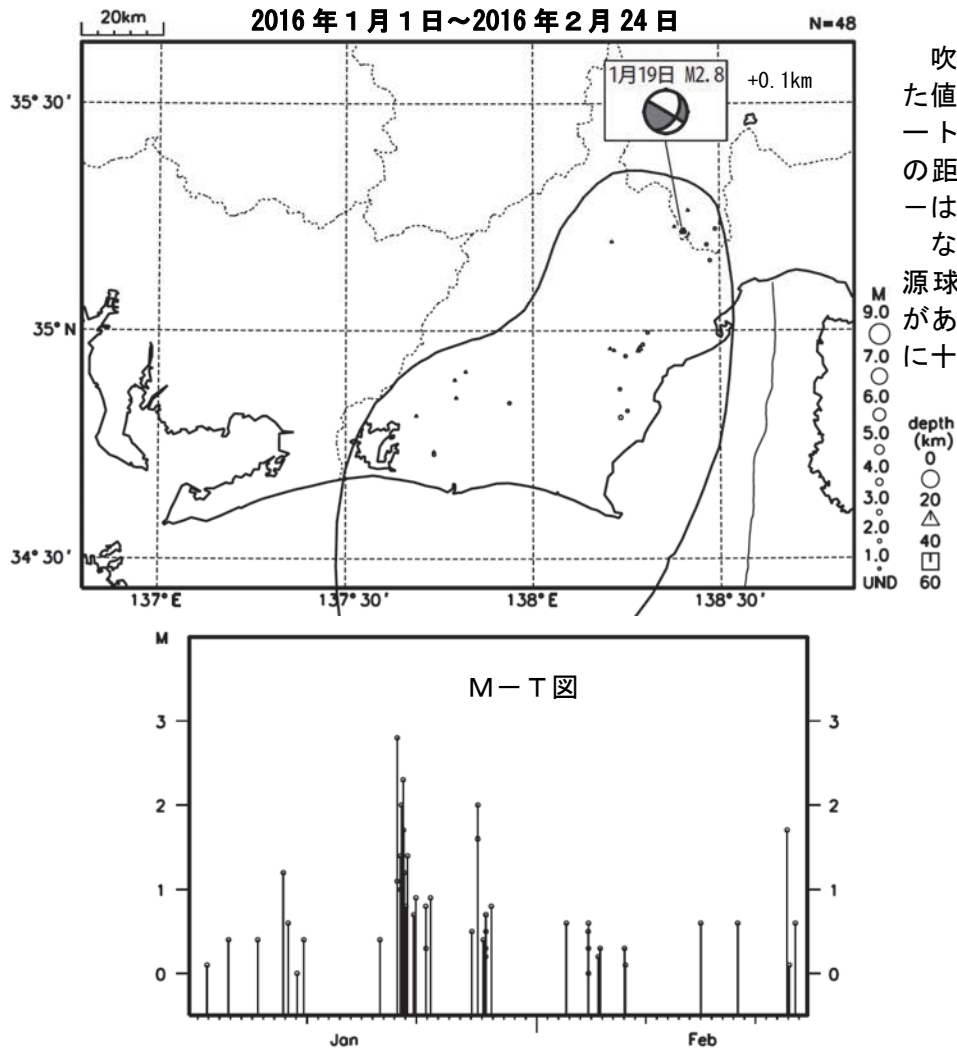


## プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

（Hirose et al. (2008) によるフィリピン海プレート上面深さの±3km の地震を抽出）

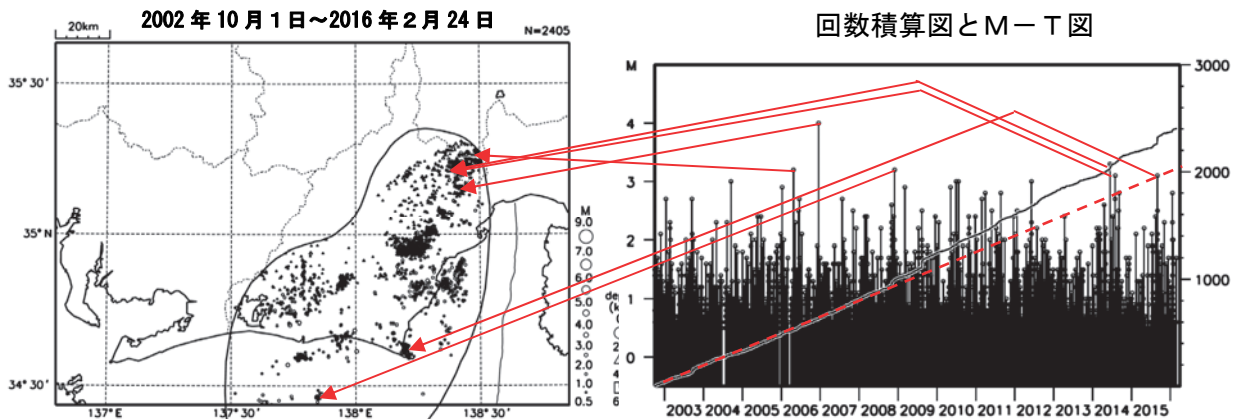
プレート境界とその周辺の地震の震央分布（最近約 1 ヶ月半、M すべて）



吹き出しの傍に書かれた値は、フィリピン海プレート上面からの鉛直方向の距離 (km)。+は浅く、-は深いことを示す。

なお、吹き出し図中、震源球右下隣りに S の表示があるものは、発震機構解に十分な精度がない。

プレート境界とその周辺の地震の震央分布（2002 年 10 月以降、M ≥ 0.5）



2002 年 10 月以降 (M ≥ 0.5) で見ると、東海地域のプレート境界とその周辺の地震活動は、2007 年中頃あたりからやや活発に見える。なお、2009 年 8 月 11 日以降は、駿河湾の地震 (M6.5) の余震活動の一部を抽出している。M3 を超える地震については、その震央を矢印で示しているが、これらの地震の発震機構解は想定東海地震のものとは類似の型ではない。

図5 プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

気象庁作成